

(3)協議会・幹事会並びに各部会の2018年度活動報告
及び2019年度活動計画について

兵庫県がん診療連携協議会・幹事会関連

項目	内容
2018年度の活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2018年4月26日(木) 兵庫県がん診療連携協議会(第13回) 開催 ○ 2018年6月28日(木) 第1回幹事会 開催 ○ 2019年2月21日(木) 第2回幹事会開催 ○ 2018年11月17日(土) 兵庫県がん診療連携協議会主催 第8回「ひょうご県民がんフォーラム」開催 場所:兵庫県民会館9階「けんみんホール」 テーマ:「 がんと共に生きる 」 担 当 : 姫路赤十字病院、姫路医療センター、赤穂市民病院、公立豊岡病院
2019年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2019年4月11日(木) 兵庫県がん診療連携協議会(第14回) 開催 ○ 2019年6月6日(木) 第1回幹事会 開催 ○ 2020年2月20日(木) 第2回幹事会開催 ○ 2019年11月16日(土) 兵庫県がん診療連携協議会主催 第9回「ひょうご県民がんフォーラム」開催 場所:兵庫県民会館9階「けんみんホール」 テーマ:「未定」 担 当 : 県立がんセンター、市立西脇病院、県立淡路医療センター

兵庫県がん診療連携協議会「研修・教育」部会関連

項目	内容
2018年度の活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん看護実務研修の開催(県立がんセンター) ○ がん診療連携拠点病院を対象とする 「第4回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催 2018年10月6日(土) 兵庫県立がんセンター 2F 大会議室 テーマ:「遺伝性腫瘍-PARP阻害薬とBRCA遺伝子検査の承認に際して取り組みの共有」 55名参加 ○ セミナーの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・放射線セミナー 2018年10月13日(土) テーマ:「子宮がん(頸癌、体癌)」 県民会館11階パルテホール 116名参加 ・研修・教育部会セミナー 2018年10月27日(土) テーマ:「食道がんセミナー ～食道がん治療におけるチーム医療のかかわり～」 兵庫県民会館「けんみんホール」 99名参加 ・検査セミナー 2018年12月 8日(土) テーマ:「婦人科領域のがん 検査と治療 up to date」 兵庫県私学会館 114名参加 ・薬剤師セミナー 2018年12月15日(土) テーマ:「がんゲノム医療」及び「薬剤師力を発揮するための人材育成」 兵庫県私学会館 181名参加 ○ 共催研究会・県民フォーラムなど <ul style="list-style-type: none"> ・ 第8回ひょうご県民がんフォーラム 2018年11月17日(土) テーマ:「がんと共に生きる」 兵庫県民会館「けんみんホール」 担当施設:◎姫路赤十字病院、姫路医療センター、赤穂市民病院、公立豊岡病院 (地域別で持ち回りにて開催する) 118名参加
2019年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん看護実務研修の開催(県立がんセンター) ○ がん診療連携拠点病院を対象とする 「第5回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催 日付未定 兵庫県立がんセンター 2F 大会議室 テーマ:「未定」 ○ セミナーの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・放射線セミナー 2019年10月12日(土) テーマ:「未定」 県民会館11階パルテホール ・研修・教育部会セミナー 2019年10月26日(土) テーマ:「未定」 県民会館11階パルテホール ・検査セミナー 2019年12月21日(土) テーマ:「未定」 兵庫県私学会館 ・薬剤師セミナー 2020年 1月 18日(土) テーマ:「未定」 兵庫県私学会館 ○ 共催研究会・県民フォーラムなど <ul style="list-style-type: none"> ・第9回ひょうご県民がんフォーラム 2019年11月16日(土) テーマ:「未定」 兵庫県民会館「けんみんホール」 担当施設:◎県立がんセンター、市立西脇病院、県立淡路医療センター (地域別で持ち回りにて開催する)

兵庫県がん診療連携協議会「情報・連携」部会関連

項目	内容
2018年度 の活動報告	<p>1 活動計画</p> <p>・がん相談実務者ミーティングの開催;4回/年</p> <p>平成30年度第1回会議 2018年6月7日(木) 13:30~15:45 場所:県立がんセンター 2階 大会議室 【内容】 就労関連合同会議;産業保健総合支援センター、ハローワーク、兵庫県社労士協会</p> <p>平成30年度第2回会議 2018年10月6日(土) 13:00~15:45 場所:神戸大学医学部附属病院 第一病棟 2階 共通カンファレンスルーム 【内容】認定がん専門相談員申請に係る認定単位研修</p> <p>平成30年度第3回会議 2018年12月15日(土) 14:00~16:00 場所:県立がんセンター 2階 大会議室 【内容】患者会との交流会</p> <p>平成30年度第4回会議 2019年3月23日(土)予定 場所:県立がんセンター 2階 大会議室 【内容】活動評価</p> <p>2)事務局会議の開催</p> <p>第20回会議 平成30年5月30日(水)13:00~14:30 場所:神戸大学医学部附属病院 外来診療棟4階 第三会議室 【内容】今年度の計画確認</p> <p>第21回会議 平成30年10月6日(土)15:00~15:45 場所:神戸大学医学部附属病院 第一病棟 2階 共通カンファレンスルーム 【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域相談支援フォーラムの運営について 2. 来年度の部会会議内での研修会の位置づけについて 3. がんピアサポーター養成研修およびフォローアップ研修の開催について <p>第22回会議 2018年12月15日(土) 16:30~18:20 場所:県立がんセンター 2階 大会議室 【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域がん相談支援フォーラムの運営について 2. がんピアサポーター養成研修の開催について 3. 情報・連携部会運営のためのマニュアル作成について <p>3)地域がん相談支援フォーラムin近畿開催に向けての準備</p> <p>第1回準備会議 2019年1月24日(木) 18:30~19:30 場所:神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ 【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開催日時と場所の検討 2. プログラム構成の検討
2019年度 の活動計画 及び今後の 検討課題等	<p>1 活動計画</p> <p>1)がん相談実務者ミーティングを年4回開催する</p> <p>【日程】 未定 【内容】 未定</p> <p>2)事務局会議の開催</p> <p>【日程】 未定 【内容】 未定</p> <p>3)地域がん相談支援フォーラムin近畿の開催および開催準備</p> <p>2019年10月6日(日)開催予定 場所:神戸市立中央市民病院 第2回準備会議 2019年9月予定 場所:神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ</p>

第1回 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会会議 議事録

日 時 平成30年6月7日(木) 13:30~16:05

場 所 兵庫県立がんセンター 2階 大会議室

当番病院 神戸市立医療センター中央市民病院

(1) 就労支援関連職種との交流会

【活動紹介】

○社会保険労務士 伊藤氏

普段は病院や会社の顧問として従業員が健康で安全に働けるためのアドバイスをしたり労働関係の法律相談を行っている。また現在は神戸市立医療センター中央市民病院と大阪の大学病院でがん患者の就労支援も行っている。

病院と社会保険労務士が連携する際に注意している点は、労働に関する法律や傷病手当金、障害年金などの社会保障制度の説明、仕事を休む際に会社にどのように伝えるか、他の患者さんはどのようにして両立しているのかを具体的にお話しできるように心がけている。

復職を検討する際にも会社とどのように交渉していくか、辞めざるを得ないときにどのようにすれば経済的に有利となるのかなどもお話ししている。再就職の面接時にがんの罹患について伝えるのかなどを一緒に考えている。

社会保険労務士から見た就労支援の課題としては、がん治療と仕事の両立支援の相談場所として相談支援センターがあることをもっと労働者に知ってもらう必要があると考えている。治療をしながら仕事をし、仕事をしながらがん治療をする。また一旦退職したとしても再就職できるというようになっていけばよいと考えています。

○兵庫県産業保健総合支援センター 両立支援促進員 岸野氏

両立支援促進員 県立がんセンターで週1回相談対応を行っている。また働き方改革でトライアングル支援と呼ばれる企業(労働者・産業医も含む)・医療機関(主治医や相談支援担当者など)・社会保険労務士や両立支援促進員などのコーディネーターの三者が協力して進んでいくことを行政は目指している。今のところ150社ほどの企業に意識を確認しながらまわっているが、積極的な事例もあればあまりそうでもないところもあった。

県立がんセンターでの相談件数については昨年2月からはじまったが4月から9月の半期で見るとあわせて20件であったが、4月から今年3月末までの一年間で見ると54件となった。がん相談支援センターが院内周知を強化したことにより8月から件数が増えていった。行政機関であり、社会保険労務士のようになんでも受けられるということではないが労働者安全機構や産保センターも意識が変わってきており、以前は労働者でないと相談を受けられなかったが、労働者以外でも来所されれば相談をお受けする。ただし個別調整支援については労働者でなければ調整しようがないので相談のみになる。

都道府県がん診療連携協議会（5/23）で厚生労働省の労働基準局労働衛生課の担当者がトリアングル支援について説明。インターネットで検索していただければ資料があるので興味があればご参照を。国としてはがん相談支援センターの実務者も両立支援コーディネーターとして位置付けている。診療報酬においても条件付きだが医療機関にとって有用なことも出てきている。

○ハローワーク明石 長期療養就職者支援担当 山本氏

①県立がんセンターでの出張相談（毎週火曜日 11時から14時）

看護師がまず仕事ができる体調かを確認し、就労可能と判断できれば就労相談を行う。だいたい一人1時間。

周知活動としてミニセミナー「ハロワルーム」（月2回 10日・25日）も行っている。定期日程に來れない場合には別の曜日でも出張相談を行っている。

産保センターとも連携しておりハローワーク明石に相談に來られた方でも産保センターでの対応が良い場合には予約を取ったりしている。すでに退職を決めている方のその後の就業相談など逆のパターンで産保センターからの相談もある。

②ハローワーク明石での相談支援

専用窓口がある。担当職員からの案内で希望されれば予約をとる。

即就職をしたい方は週1回ぐらい、ゆっくり探していきたいという方については月1、2回ペースで面談している。出張相談ではペーパーベースでしか対応できないので、具体的な相談はハローワークで対応する。

長期療養者就職支援 平成25年から開始。出張相談は月2回ペースで対応していた。当初は相談件数8件だったが、平成29年度は出張相談50回以上となり相談件数は約40件に増えた。ハローワーク明石での平成29年度相談件数は400件、30名以上（初年度と比べ10倍）の方が就職できた。平成30年度も県立がんセンターの相談支援センターの院内周知活動により相談件数は増えている状況。

兵庫県ではハローワーク明石のみこの事業を行っている。県内で姫路や阪神間の病院の相談員から相談を頂くこともあるが、患者は明石まで来所することも体調面で大変。またがん患者専門の求人があるわけではない。一般の求人から選定、提案して就職に導くといった対応をしている。ぜひ主要病院近くのハローワークも協力を頂きたい。

○兵庫県立がんセンター がん相談支援センター橋口氏

相談支援センター側としては三者で入るようにしている。病状や今後の経過を医療者が確認するほうがより正確な情報を得られると思う。

両立支援で入っていても就職相談を視野に入れて対応しないといけない場合やその逆もある。ハローワークや産保センターの間に入り、橋渡しの役割が病院にはあると思う。

課題として周知活動の継続が必要と思っている。現場に近い看護師などの医療者にどれだけ知ってもらえるかというところの難しさを感じている。今年も各部署を回って就労支援のアピールを考えている。

○神戸市立中央市民病院 がん相談支援センター橋本氏

社労士と看護師と患者の3者で「しごととくらしの相談会」を月1回行っている。

一度看護師が面談して、社労士につなぐ必要性があるのかを確認する。

平成29度は19件。うち病棟への訪問が1件。

就労の相談が11件（仕事を休む前の段階から復職に関すること、再就職に向けてなど）

障害年金の相談4件、経済面に関すること4件

県立がんセンターのようにハローワークと連携しているわけではないので、就職活動の相談では実際に仕事を紹介することはできない。再就職に向けての相談は例えば自分のアピール不足なのかといった悩みをお持ちの方もいるのでそういった内容の相談に対し伊藤社会保険労務士が企業の人事担当をしていたことから企業側がどういったところをみているのか、どういったアピールをしたらよいのかといった提案を行なっている。そういった内容を聞いていることで相談員としてのスキルアップにもつながっている。

【グループワーク】

D グループ

ハローワークにお願いするにあたりがん相談支援センター・医療者側としては就労前のサポートに主眼をおいて対応すること、相談者が就労するにあたって生活を整えていくという視点が必要。

夫の扶養に入っている非正規雇用の方が雇い止めになるといった相談があり非正規での雇用についてという話題があがったが具体的な検討まではできなかった。

姫路のハローワークではまだ明石のような対応はできていないが、今後予約制など対応をお願いしたい。姫路日赤・姫路医療センターで年間10件程度の相談がある。

傷病手当金について人生のどのタイミングで受給していくのかの検討。

がんであることを会社に告げるかどうかについて、就職してからの配慮を受けるためには相談支援センターとしては罹患を告げて就職するというスタンスでよいのではないかとの結論となった。

C グループ

主にハローワークや社労士などの専門家との連携について検討。

社労士には事例の相談から拡大していくパターンが多い。

神大・中央市民のように県の社労士会と契約しているのと個別の契約での違いは社労士会

との契約は自由な活動ができない（勉強会など）ことからどのような契約を結んでいくかを考えたほうが良いと思った。

ハローワークとの連携についてあいさつ回りを考えている病院もあるが、ハローワークによっては感心どころであるかによって対応も違うかもしれないが粘り強くお願いしていくしかないだろう。ハローワーク明石経由での相談についても可能かもしれないが、病院近くのハローワークと連携していくほうがメリットは多いので良いのではないか。

職業訓練の話やどういった面談で就職につないでいっているのかというお話を聞いた。

A グループ

社労士と連携している病院 2 ハローワークと連携している病院 1

加算がついたことで院内のコンセンサスがとれ今年から体制を取り組んでいく病院もある高齢者が多い地域だと就労支援があまりないのが現状だが院内の多職種でワーキングを立ち上げ体制づくりを行っていくところもあった。

どういう風に支援を行えばよいのか、加算がついたことでどうやって対象者の拾い上げをおこなうのか、社労士との連携についてオープンにしている病院もあれば院内だけでの対応としている病院もあり同じ医療圏でどうやって共有していけるだろうかと検討したが答えはでなかった。

トライアングル支援のなかで産業医がいない事業所についてはどのように関わっているかを聞きたい。

B グループ

社労士と協働している病院もあれば患者層が高齢者が多い場合や再雇用をどうしようかといった相談もあり各病院で抱えている悩みが違った。

産保センターから再就職支援のあとには両立支援が必要となるのでどう連携していくかということや紛争のような状況となった場合に企業側の同意がなければ介入ができないが、例えば総合労働相談コーナーで企業への助言やあっせんをしてもらえるなどの方法があるとの情報を得ることができた。

ハローワークとの連携については神戸では西神戸医療センターのみ。相談員が病状等についてまとめた情報を患者にお渡しし持参のうえで相談して頂くといった連携をしているが神戸の各病院でも近隣のハローワークとそういった連携ができればよいと思う。

【グループワークのまとめ】

（橋本氏）地域柄ということもあるしがんの患者は比較的高齢の方が多く一口に就労と言っても対象となる方がどれだけいるのかは病院によって違う。

社労士やハローワークとの連携についてどの病院もいろいろと悩みを抱えていた。

ハローワークからは実際に密な連携をとっていなくても相談にはのって下さるということ

であり、積極的に連絡をすればよいのだと感じた。がんに特定せず働いている人は両立支援が必要であり専門機関との連携をはかっていきたい。

【質疑応答】

○トライアングル支援の中で産業医の問題について、産業医の実態がない企業も実際にはあるが、そういった産業医との連携がとれない事業所との調整についてはどのようにしているのか

(岸野氏) 大変難しい問題。診療報酬の中でがんに限るのはよいが、産業医が選任されている事業所の労働者と限定されていることに驚いている。(資料 34) 実際の相談の実務では産業医がいるといった相談は 10 人に 1 人ぐらい。どうやって把握していくか、即答はできない。

労働者健康安全機構では産業医を選任することで助成を行う事業があるがどこまで有効かはわからない。医師不足であり、産業医をしてくれる医師がどこまでいるかということも課題。産業医の養成は産保センターなどでの仕事ではない。

(橋本氏) 産業医がいない 9 名についてはトライアングル型支援の形としては会社側と連絡を取り合っているのか？

(岸野氏) 人事担当者への働きかけの方法について指導を行っている。会社がある程度の規模であると聞き取りで判断すれば就業規則について尋ねるようにしているが、やはり産業医のいる事業所は少ない。行政側としても難しい取り組みである。

○産業医が今回の診療報酬の改定で就労支援についての加算ができたことを知らなかったというパターンがあったと聞いたが相手が知らないで成り立たないのでどうしたらよいのか？医療機関から働きかけないといけないのか？

(伊藤氏) 医療の世界では返書をおこなうのは通常のことだが、病診・病病連携とは違い産業医は会社側の立場で書類を受け取るため、連携の意識がないのかもしれない。ただ、コスト(診療報酬)について説明せずとも医師であるからには診療情報提供を受ければその返書を行うのは通常であると思われる。診療担当医は会社での勤務体制やどのような配慮を受けられるのかがわからず、産業医はどのような治療が行われているかがわからないということからお互いの間をつなぐために今回の施策がある。コストの面でお願ひするのではなく医師から医師への問い合わせということで返書の依頼をしてみてもどうか。ただ、書類が返ってこない場合には会社に伝えるのも一つ。産業医も会社に雇われている身なので会社から言われると対応するだろう。

○兵庫労働局 廣田氏) 今回のお話を聞いていてハローワークに対する敷居の高さを感じておられることがわかった。ハローワーク明石は事業化して密な連携を図っている。その他は各ハローワークに委ねており対応できる範囲で個別対応しているが、労働局としてど

ういった関わりができるのか検討したいと思う。ハローワークでは仕事の相談は原則どなたでも対応することになっている。そこに病院の方がどう関わるのか、ハローワークがそれにどう対応するかということで、個人的に相談に来て頂くことは問題ない。周りのサポートをどのようにしてハローワークと協調していくかを考えたい。国の事業もある程度のニーズがあればハローワークとしても対応していくことも考えている。要望があれば労働局に言ってください。

(2) その他連絡事項

【事務局からの連絡事項】 兵庫県立がんセンター 橋口氏

●5/30 情報連携部会 事務局会議

部会としての目標を中心に話し合い。完成すれば発信する。

①がん相談支援の質の向上と活用の促進に努める

実務者ミーティングを情報連携部会として行うこととなった。目標管理の時間として実務者ミーティングの2時間から15分延長することとなった。物事を決定しないといけない際には部会として部会員が議決権をもつ。進捗管理については部会、交流会や研修会に関しては実務者の会議となる。部会員と実務者が同一でない場合には、議決の際には部会員の先生に来ていただくか誰かに委任していただくようにして下さい。

②就労支援

全体の交流会を本日実施できた。他に県の部会全体で一丸となって何かできないかを事務局で検討した結果、どの病院でもとりかかれそうな「初診時に仕事を辞めないでキャンペーン」を考えている。チラシをつくるので各拠点病院で配布や掲示をしてPRしていただければ。(34分)

③ピアサポートの体制づくり

9/23、24 養成研修 9/30、12/15 フォローアップ研修

ファシリテーターの方はご協力お願いします。

④部会の組織の強化

実務者ミーティングを情報連携部会として運営する。

⑤県内のがん相談支援の質の向上と人材確保

県内で認定がん相談専門相談員4名育成を目標。

指導者研修は今年度該当なし。来年度以降開催されれば派遣を検討する。

地域がん相談支援フォーラムは次回31年度開催 兵庫県がホストとなっている。2019年秋(10月頃)を予定。

●5/23 国の部会

拠点病院の指定要件が変更されるかもしれないとの情報

相談員の配置要件として(現)専従1名+専任1名→(新)常勤かつ専従2名以上体制が

求められるようになる 職種は看護師と社会福祉士・精神保健福祉士を置く。(ただし1名ずつ必要ではなく兼任者でも可)

●次回会議予定 10/6 (土) 場所 神戸大学附属病院

前年度指導者研修を受講した神戸大学病院 酒見さん、県立がんセンター 岩城さん、神戸中央市民病院 橋本さんで企画した「単身者の支援を考える」をテーマに研修形式で行う。認定がん相談専門員の単位認定の位置づけとなっている。

詳細は後日お知らせ。担当病院は姫路医療センター。

【両立支援の加算について実績のある病院からの情報共有】

・兵庫医科大学病院 西村氏

1例のみ。対象患者が少ないとは想定している。モデル的に乳腺・血液の若年患者を対象に動き出している。診療報酬の規定のとおりフローで動いている。がんセンター医師に協力してもらっている。フォーマットは医師が書きづらいとのことガイドラインに沿った形ではあるがオリジナルでチェックボックス式にして復職用と就労継続用の2種類を作成。産業医から返信がもらえるようなフォーマットにしている。対象は若年者で治療期の患者、初回治療で病棟師長からの声かけをしていただいた。いいタイミングで声をかけられたことと産業医もいてくれたことではじめられた。どのくらいのニーズがあるかは様子見の状況。

・姫路赤十字病院 井上氏

両立支援コーディネーター研修を受けて数日後にたまたま主治医に副作用のしびれのことなどを意見書に書いてほしいとの希望があり今回の制度のことについて有料となることも含めてお伝えし、了解を得て介入。まずはモデルの書式を使って情報を集め、主治医に対しては下書きを示して記載していただいた。ただ産業医の返書について依頼の文書をつけていなかったため返信がなく両立支援としての診療報酬がとれていない。ひとまず診断書料として算定した。まだフローもつくれておらず文書の登録もしておらずこれから準備していくところ。まだ1例のみ。

・加古川中央市民病院 和田氏

フローや文書については厚労省のガイドラインに沿って対応している。返書依頼についても文書を添付した。患者のピックアップは外来看護師から告知時に仕事をしているかの確認とパンフレットを渡してもらっている。モデル事例として学校の先生、患者から産業医と聞いていた先生から産業医ではなく“健康管理医”だとお叱りを受け対応して頂けなかった。結局診断書料としてコストを算定。職場でも支援の取り組みを知らない産業医の先生もどうしてよいかわからないので職場や産業医に対し詳しく説明が必要といった現状がある。

(質問)

・神戸市立医療センター中央市民病院 橋本氏

企業への周知について県の取り組みはどうなっているか?→特にない。

(3) 目標管理シート進捗管理作業

各病院ごとに実施。

次回会議予定 平成30年10月6日(土) 神戸大学医学部附属病院にて

研修形式 テーマ「単身者の支援を考える」 ※認定がん専門相談員 単位取得研修

担当病院 姫路医療センター

詳細は後日連絡

第2回 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会会議 議事録

日 時 平成30年10月6日(土) 13:00~15:45
場 所 神戸大学医学部附属病院 第1病棟2階 共通カンファレンスルーム
当 番 姫路医療センター
出 席 者 第2回出席者名簿に記載(別添)

1. 認定がん専門相談員単位認定研修(Ⅲ群認定研修)

予定通り実施(研修資料参照)

25病院55名の参加(事前申し込み55名、1名欠席、1名当日参加)

研修修了において受講証明書発行55名(名簿リスト参照)

1) 講義①

独居の方が最期まで安心して過ごすための「成年後見制度」「死後事務委任契約」の上手な使い方

講師 一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター 行政書士 米田和広
一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター 行政書士 中村修治

2) 講義②身寄りのない方が亡くなった場合について～神戸市遺留金取扱条例～

講師 神戸市保健福祉局生活福祉部保護課 医療係長 平田大輔

3) グループ討議

2. 連絡事項

特になし

3. PDCA進捗確認

各病院で実施

次回会議: 12月15日(土) 西脇市立西脇病院 当番

第3回 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会 【議事録】

【概要】

日時： 平成30年12月15日(土) 午後2時30分～午後4時00分
場所： 兵庫県立がんセンター 大会議室
出席者： 名簿参照
担当： 西脇市立西脇病院

【議題・内容等】

1. ピアサポーターとの交流会

(1) ピアサポーター関連研修の概要説明：

⇒ 神戸大学医学部附属病院 がん相談室 酒見氏より、ピアサポーター養成研修およびフォローアップ研修の概要等について説明（別途資料あり）

(2) グループワーク：

テーマ『がん相談員が、ピアサポーターと共に、
がん患者や家族に対しより良い支援ができるために』

⇒ 部会当日は、午前中に同会場にて「平成30年度兵庫県がんピアサポーターフォローアップ応用研修」が開催された。その参加者のうち16名と、部会員等（がん相談担当者）が、おおむね活動地域ごとに分かれたグループ（7グループ）にわかれて、テーマに沿って情報交換を行った。

〔主な意見〕

- ・ がん相談部門へ行くハードルを下げる方策を。医療者から積極的な紹介を。相談部門へ行きやすい環境を。カフェのような感じで整備している医療機関もある。
- ・ 患者会同士の交流会があってもいいのでは。
- ・ 告知早々が最もつらい。その段階からサポートできる体制の検討を。
- ・ 病院側は、ピアサポーターと相談希望者のマッチングが難しい(名簿以上の情報がないので)。
- ・ ピアサポーターの横の連携がもっとできればいいのでは。サポーター同士のつながりをコーディネートできる仕組みがあれば。
- ・ サロンに参加しやすい環境を、医療機関側にも検討していただきたい。
- ・ ピアサポーターの得意・不得意について相談員側にも情報があれば。名簿上にも簡単なプロフィールの記載があるが、登録時点の情報のみで更新がない。
- ・ 病院の相談員とピアサポーターが、顔を合わせる機会がもっと多く必要。
- ・ サロンや患者会の効果的なPRも必要。フェイスブック、ホームページでPRをしている会もある。
- ・ 病気をオープンにしにくい人もいる。もっと隠れたニーズがあるのでは。ただ、そういう人へのサポートは慎重であることも必要。

- ・ ピアサポートを担う人を養成するだけでは不十分。サロン等からピアサポーターが自然発生する形が理想では。
- ・ 相談支援センター側も、ピアサポーターの効果などのPRを積極的にしてほしい。

〔県ピアサポート事業についての意見〕

- ・ 個別の依頼を受けたことがない。「ピアサポーターが2人同席で面談」などの規程上のハードルが高いのでは。もっと実施しやすい方法を。
- ・ モデル事業の実施など、拠点病院にもっと浸透するための取り組みを。地域・県全体で検討を。
- ・ 今まで、県事業は1施設が利用（宝塚市立病院）。ストーマ造設などについて個別に相談を希望されたケース。
- ・ 事業の形にとらわれず、身近なサロン等でピアサポートできるのがよいのでは。各医療機関等が主体的に活用を検討しては。

2. 連絡事項

12月4日に「第11回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会」が、国立がん研究センターにて開催済。第3期計画の項目等のアナウンスのほか、全国の各ブロックの地域相談支援フォーラムについて報告等あり。近畿の相談支援フォーラムは来年秋を予定。事務局病院及び、他府県の企画委員会で内容調整を進めていく。

相談記録フォーマットについて：第3期計画の変更により、フォーマットを変更予定。

3. 目標管理（PDCA）進捗状況確認

各医療機関にて実施

〔次回〕

日時： 平成31年3月23日(土)

場所： 兵庫県立がんセンター

担当： 公立豊岡病院組合立 豊岡病院

第20回 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会事務局会議 議事録

日時：平成30年5月30日（水）13:00～14:30

場所：神戸大学医学部附属病院 外来診療棟4階 第三会議室

参加者：兵庫県疾病対策課（鶴井成央、味園真実）、兵庫県立がんセンター（橋口周子）、神戸大学医学部附属病院（木澤義之、酒見惇子）、兵庫県立柏原病院（井上清美、廣瀬智子）、西神戸医療センター（稲山友代、板東由美）

司会：木澤情報・連携部会長

議事録作成：酒見

議事内容

1. 今年度の目標・計画（目標管理シートに併せて進行）

1) がん相談支援の質向上、活用の促進に努める

- ・各施設がチェックリストを元に問題点を明らかにして、質の改善計画を立案した。平成30年3月に開催した実務者ミーティングで、各施設の平成30年度の活動計画を共有した。
- ・年4回開催する実務者ミーティングの際に、毎回15分の目標の進捗管理の時間をとる。各病院には左記の予定を告知し、目標管理シートの事務局への提出と当日の持参を依頼する。
- ・実務者ミーティングの内容は以下とする。
 - ・平成30年度第1回会議 2018年6月7日（木）
内容；兵庫県社会保険労務士会、産業保健総合支援センター、ハローワークとの意見交換会
 - ・平成30年度第2回会議 2018年10月6日（土）
内容；認定がん専門相談員認定単位研修 テーマ；単身者の支援について
 - ・平成30年度第3回会議 2018年12月15日（土）
内容；ピアサポーターとの交流会 ※午前中にピアサポーターフォローアップ研修
 - ・平成30年度第4回会議 2019年3月23日（土）
内容；各施設の質改善活動の評価

2) がん患者の就労支援を行う体制づくりをする

- ・第1回の実務者ミーティングで、就労支援の関連団体との意見交換会を行う。
- ・初診時の離職を防ぐための対策が必要である。患者への啓発資料の作成を検討する。ポスター案を作成し（橋口）、校正を業者に依頼する。
- ・6月11日に行われる兵庫県議会の一般質問では、就労支援に関する質問があるかもしれない。6月7日の情報・連携部会における社労士等との意見交換も新たな取り組みとして答えられるかもしれない（兵庫県疾病対策課）。

3) がん患者のピアサポートの体制づくり・継続を支援する

- ・ピアサポーター養成研修を、9月29日（土）・9月30日（日）の2日間で実施予定。昨年度に引き続き、松本陽子氏に講師を依頼している。会場は兵庫県立がんセンター。
- ・フォローアップ研修を、9月30日（日）（目的：質の維持、内容：基礎の振り返り・ロールプレイ）、12月15日（土）午前（目的：質の向上、内容：活動の場の構築に関するレクチャー・難易度を上げたロールプレイ）で実施予定。
- ・2月の幹事会、4月の協議会で、今後ピアサポーター養成研修の開催は、がん診療連携拠点病院が

持ち回りで担当し、経費はその病院が負担することの了承を得た。担当順などは9月頃を目途に決定する。

4) 情報・連携部会の組織を強化し、迅速に意思決定し事業を行える体制を整える

- ・4月の幹事会で部会長より、部会員として実務者を推薦してもらうよう要請した。高砂市民病院を除く拠点病院については、部会員への実務者の登録が完了している。
- ・平成30年度第1回のミーティングより、名称を情報・連携部会実務者ミーティングに変更して開催予定。今後の実務者ミーティングの開催案内は、担当病院から、相談員ミーリングリストと情報・連携部会ミーリングリストに回す。
- ・年4回のミーティングの同日に情報・連携部会を開催する（目標管理、予算承認）。
- ・実務者ミーティングの事務局は、名称を情報・連携部会事務局と変更し、その機能は存続させる。平成30年度第1回の事務局会議より、名称変更と平成30年度の事業計画の確認を行った。
- ・兵庫県がん診療連携協議会事務局への事務業務移行が未達成。情報・連携部会長からも、業務の依頼を行う。

5) 県内のがん相談支援の質の向上を推進する人材を育成する

- ・10月6日にがん相談実務者ミーティングで単位研修を開催予定。
- ・各国指定拠点病院に認定がん専門相談員の申請を積極的に行うように、情報・連携部会実務者ミーティングの際に、働きかけを行う。
- ・今年度は国立がん研究センターがん対策情報センター主催のがん相談指導者研修の開催はない。次年度、研修への参加を呼びかける。

6) 平成31年度地域相談支援フォーラム in 近畿を開催する

1) 国立がん研究センターがん対策情報センターの地域相談支援フォーラム共催団体に応募する

- ・情報・連携部会長より、来年度以降の地域相談支援フォーラムの枠組みについて、国立がん研究センターの地域相談支援フォーラム事務局に問い合わせを行ったが、未定との返答があった。
- ・2019年10月5日（土）または6日（日）で開催できるよう、準備を行う。
 - ・医師会館など200～300名が収容できる会場を探す（兵庫県疾病対策課）。
 - ・内容については今後検討を行う。
 - ・これまでの運営方法について問い合わせる（橋口）。
 - ・兵庫県がん診療連携協議会事務局の協力について確認する（木澤）。
 - ・国立がん研究センターからの補助金がない可能性もあるため、費用を抑えた運営を検討する（ペーパーレス、ウェブ上の受付システムなど）。

2. その他

- ・木澤情報・連携部会長より、平成30年6月のがん診療連携拠点病院等の指定要件の見直しについて、話題提供があった。今後診療機能によって、「地域がん中核拠点病院（仮称）」「地域がん診療連携拠点病院」「準地域がん診療連携拠点病院（仮称）」の3つに分類される。情報・連携部会に関連する内容には、がん相談支援センターには看護師および社会福祉士・精神保健福祉士の両職種の配置が盛り込まれる予定。来年4月より実施となる。

第 21 回 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会事務局会議 議事録

日 時：平成 30 年 10 月 6 日（土）15:00～15:45

場 所：神戸大学医学部附属病院 第一病棟 2 階 共通カンファレンスルーム

参加者：兵庫県疾病対策課（鶴井成央）、兵庫県立がんセンター（橋口周子）、神戸大学医学部附属病院（木澤義之、酒井紀子、酒見惇子）、兵庫県立柏原病院（井上清美、廣瀬智子）、西神戸医療センター（稲山友代、御園和美）

議事内容

1. 地域相談支援フォーラムの運営について

- ・兵庫県のがん相談実務者のメーリングリストでテーマを募集した結果、複数案があがった（AYA 世代、高齢者支援、遺伝性がん、希少がん、補完代替療法、サバイバー支援、妊孕性、ACP、がんゲノム、相談員の質向上のための適切な評価）。他地域の開催テーマなども加味し、「高齢者支援」を取り上げたい。意思決定の問題や、多疾患を抱えるがん患者や認知症合併のがん患者も増えており、その支援の必要性が高まっている。地域包括ケアシステムとの兼ね合いも話題となっている。
- ・丹波地区の取り組みを報告いただくのもよいか。
- ・日や場所について、神戸大学病院酒見が検討する。
- ・講師の候補とプログラム案について、木澤部会長から提案いただく。
- ・次回 12 月に、プログラムのたたき台を作成する。

2. 来年度の部会会議内での研修会の位置づけについて

- ・都道府県がん診療連携拠点病院の指定要件の変更により、「当該都道府県の地域拠点病院、特定領域拠点病院、地域がん診療病院の相談支援に携わる者に対する継続的かつ系統的な研修を行うこと」となっている。単位研修については、県立がんセンター主催の研修会との位置づけとする。

3. がんピアサポーター養成研修およびフォローアップ研修の開催について

○養成研修・フォローアップ基礎研修

- ・兵庫県鶴井班長より、延期となったピアサポーター養成研修等の開催について提案があった。養成研修等を来年度 4 月以降に開催する別紙「ピアサポーター養成研修およびフォローアップ研修の開催について」【案 4】のとおりとする。
- ・松本陽子氏の日程について、兵庫県疾病対策課味園氏に確認していただく。
- ・次年度開催となるので主催者は持ち回り先の病院になるが、兵庫県疾病対策課も協力する。費用についても、必要であればできる限り同課で協力する。

- ・担当病院は西神戸医療センターに打診する。病院側に確認していただく。

○フォローアップ応用研修

- ・予定通り、12/15（土）に開催する。ピアサポーター導入の取り組みについて、宝塚市立病院などすでに導入などを行っている病院に報告いただく。

4. その他

- ・今回、台風接近に伴う部会決行の案内が遅くなった。天候の問題の場合、直前まで検討が必要であると考えられる。連絡の取り方や出欠確認の方法について、順次担当する担当病院が対応しやすいよう、マニュアルを作成する。神戸大学病院酒見が案を作成する。

次回日程

日時：12月15日（土）

場所：兵庫県立がんセンター

議題：地域フォーラムの運営について

第22回 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会事務局会議 議事録

日 時：2018年12月15日(土) 16:30~18:20

場 所：兵庫県立がん相談支援センター 第2会議室

参加者：兵庫県疾病対策課（鶴井成央、味園真実）、兵庫県がんセンター（橋口周子）、神戸大学医学部
附属病院（酒見惇子、酒井紀子）、西神戸医療センター（稲山友代）、兵庫県立柏原病院（広瀬智子、井
上清美）

司会：酒見惇子 議事記録：井上清美

議事内容

1. 地域がん相談支援フォーラムの運営について （配付資料参照）

1) 主催・共催・後援

運営母体については企画委員会を立ちあげ、兵庫県情報連携部会事務局が中心となり近畿6府県
の相談支援連携部会 都道府県拠点病院からもメンバーとして参加していただく。（人数は各府県
1~2名）

当日の運営のお手伝い（実行委員）は、情報連携部会から募り他府県からも1~2名募る。

2) 位置づけ

認定がん専門相談員認定事業におけるⅢ群申請

3) 対象

・近畿6府県、及び隣接県のがん診療拠点病院、都道府県認定がん診療協力施設またはそれに準
ずる中核病院などで、がん相談支援業務にかかわる方。

・先着順。1施設からの申し込みは2人程度、多数の場合は事務局で調整。

4) 開催時期・場所

・開催時間は、Ⅲ群申請を最低限満たすように（研修受講時間2時間以上）

① 開催時期：第1候補 10月5日（土）、第2候補 10月6日（日）

② 場所：候補 ・神戸市立医療センター中央市民病院

・兵庫県医師会館

・三ノ宮コンベンションセンター

※事務局で各候補施設の状況確認していく

5) 講師候補・プログラム

①テーマ：「高齢者支援」をメインテーマに、意思決定の問題や、多疾患を抱えるがん患者や認知
症合併のがん患者も増えており、その支援の必要性が高まっている。地域包括ケアシステムとの
兼ね合いも話題となっている。

次回、2月ごろには企画委員会を予定し、それまでにメーリングリストで「高齢者の相談支援で
の困りごとや難点」について状況や情報収集し、テーマを絞っていく。

②講師候補：テーマ・日程を踏まえ今後依頼していく。

6) 募集人数

150人程度（実行委員含む）

7) 経費

- ・例年は参加費無料（昼食代1000円）。旅費などは参加者の負担とする。
- ・今年度は国の助成はなし。
- ・経費を下げる検討必要～申し込み手続きの簡略化。資料印刷は各自で 等

8) 開催までの準備

- ・今後年度内1回、開催までに計3回のミーティング予定～2月・6月・9月
- ・都道府県拠点病院への連絡は、議長の下承を得 部会長名で通知を行う。

2. がんピアサポーター養成研修の開催について

1) 次年度は兵庫医科大学附属病院が担当で開催決定

開催日時は6月1日・2日 愛媛おれんじの会 松本陽子氏に講師依頼

2020年は兵庫県立がんセンターの予定

2) 今後（2021年度以降）どのようにこの研修を担当していくのかを、今年度から来年度中には決定し部会でも周知していく。

- ・圏域でやるのかブロックに分けるのか、北の地域における開催方法など検討必要。

3) 本日の研修を受け、「ピアサポートの活用の規約」はピアだけの個別相談という、究極の場面に對して作られたもので、本来のピアサポートは患者サロンや集いで発揮されることがベースにある。ピアサポート研修は、サポーターのスキルアップのためにある研修という認識を持っていただくことが必要。患者サロンへの参加も意味があるということ、参加証などの発行で位置づけしていくことが必要ではないか。→次年度からできるよう検討。

3. 情報・連携部会運営のためのマニュアル作成について

当番病院・事務局の役割について捉え方に違いがあり、メンバーの交代などによってやり方が分からなくなることもある。

来年度初めにはマニュアル配布できるように、今年度中に完成させていく。内容についてはメールで検討。

4. その他

・今年度より国立がん研究センターでは、「相談の質保証を学ぶ QA研修」を開催されている。来年度からがん相談認定更新の要件が変更になり、モニタリングも追加になるので研修に取り入れてはどうかと思われる。

2020年度までに講師料無料で研修会の講師派遣がされ、応募期間は1月31日までとなっている。

次年度部会の研修会にQA研修を取り入れたい。→了承

第1回地域がん相談支援フォーラムに関する打ち合わせ 議事録

日 時：2019年1月24日（木）18:30～19:30

場 所：神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ

参加者：大阪国際がんセンター（東山聖彦、池山晴人）、京都市立病院（大原千明）、京都大学医学部附属病院（出雲路祥子）、京都府立医科大学附属病院（里見志穂）、滋賀県立総合病院（山内智香子、岡村理）、奈良県立医科大学病院（上田尚義）、和歌山県立医科大学附属病院（権田裕亮、雑賀祐子）、兵庫県立がんセンター（橋口周子）、神戸大学医学部附属病院（木澤義之、酒見惇子）

欠 席：奈良県立医科大学病院（川本たか子）

司 会：木澤義之

書 記：酒見惇子

議事内容

1. フォーラムの企画案

1) 本日の予定と企画案の確認

- ・本日は、第3回フォーラムの日時、場所、スケジュールの骨子を検討したい。
- ・第1回および第2回フォーラムの企画書を参考に、第3回のフォーラム企画案を作成した（配布資料参照）。

2) 検討内容

○開催日時および会場

- ・2019年10月5日（土）と6日（日）を候補としている。
- ・会場費がかからない神戸市立医療センター中央市民病院の講堂は6日（日）を仮押さえずである。

→10月6日（日）開催、会場は神戸市立医療センター中央市民病院講堂とする。

○費用

- ・参加費は無料としたい。
- ・ただし、今後フォーラムを継続することを考えると、参加費を徴収すると参加のハードルが生じる一方、各県で今後予算が立つかどうか課題なため運営費用確保に繋がる。資料代として500円程度徴収するのも案か。
- ・申込対応などにGoogleフォームを使用すれば省力化が可能だろう（Googleフォームでは、病院からのセキュリティで申し込めない場合があるため注意が必要）。前回は国立がんセンターが申込対応などをしてくれた→確認しておく。

○テーマ

- ・「高齢がん患者の支援を考える」とする

○対象者・募集予定人数

- ・対象者は例年通り。
- ・募集人数は、会場の収容人数（教室型 150 名）との兼ね合いで、調整する可能性がある。

○プログラム構成

①パネルディスカッション

- ・「第3期がん対策推進基本計画に基づいた相談支援の取り組み～高齢者支援に関するトピックス」とする。
- ・6府県からの報告（各10分×6）、ディスカッション（30分）の計90分とする。
- ・各府県で報告の担当者を選出していただく。

②講演

- ・国立がん研究センター東病院の小川朝生先生に、「高齢者支援・意思決定能力の評価」の内容で依頼する。
- ・時間は60分予定。

③グループワーク

- ・参加者には、高齢者支援に関して検討したいカテゴリーを選んでもらい、グループごとに、問題点やどのような対策ができるかを検討する。
- ・カテゴリーの内容は、兵庫県の情報・連携部会で収集した高齢がん患者支援を行う中で感じる困難感を元に、抽出する。

○その他

- ・今回も各府県の後援を申請し、大学のがんプロにも後援を申請する。
- ・国立がん研究センターにはフォーラム開催のご連絡を行い、当日ご参加の場合は、開会または閉会のごあいさつを依頼する。
- ・予算案について、ご確認頂き、追加必要なことがあればご意見を頂く。
- ・フォーラム終了後、実行委員会で懇親会を開催できるよう準備を行う。

2. 今後の予定

- ・2月中：兵庫県の部会で検討する。
- ・3月中：内容を固めて各府県の部会にご連絡する。
- ・6月中：募集開始。
- ・9月中：参加者決定。
- ・できる限り対面の会議は少なくする。9月ごろ一度集まっていただく（最終相談）。

2019 年度「地域がん相談支援フォーラム in 近畿」企画書（案）

■主催

兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会

■共催

大阪府、京都府、和歌山県、奈良県、滋賀県のがん相談支援関連部会

■位置付け

本フォーラムは、「がん診療連携拠点病院等の整備について」(平成 30 年 7 月 31 日付 健発 0731 第 1 号)の通知内容を踏まえ、「より地域のニーズに合致し、また系統的・継続的な研修の実施やより効果的な広報・周知活動を支援するため」に展開している広域研修であり、がん診療連携拠点病院の指定要件において、修了者の配置が求められている研修ではない。ただし、本フォーラムは過去 2 回大阪、奈良（・和歌山と 2 県合同開催）で開催されており、全国各地においても 2 年に 1 回程度定期的に各ブロックで開催されている。

なお、本フォーラムは、国立がん研究センター「認定がん専門相談員」認定事業におけるⅢ群(国立がん研究センターがん対策情報センター、都道府県、または都道府県がん診療連携協議会、およびそれに準じる機関によって、がん専門相談員のための研修と位置付けられた研修)として申請する。

■開催予定日時

2019 年 10 月 6 日(日) 10:00-16:00 予定

■会場

神戸市立医療センター中央市民病院講堂

■2019 年度フォーラムテーマ

「高齢がん患者の支援を考える」(仮)

■目的・意義

(目的)

第 3 期がん対策基本計画の柱の1つである「がん医療の充実」には、高齢者のがん対策がその取り組むべき施策として取り上げられている。高齢者のがん医療について治療の側面から考えると、エビデンスが十分に確立されていないことが多く、患者自身に治療選択が委ねられる場合が散見される。また、療養生活においても介護者の高齢化に伴うサポート不足、認知能力の低下など、患者や家族が抱える高齢者特有の問題は数多い。相談支援においてもそれは例外ではなく、がん専門相談員も高齢がん患者、家族に関わる中で、対応に苦慮することが多くなってきた。

本フォーラムでは、高齢がん患者や家族をサポートするために必要な知識の獲得とそれぞれの地域特性に応じた支援の在り方を共有することで、相談支援の質の向上を目指したい。

(意義)

関西地方の 65 歳以上人口は増加の一途をたどり、2010 年の国勢調査によれば、2050 年には約 620 万人になると推定され、75 歳以上人口は、2010 年と比べ 100 万人を超える増加となる見通しとなっている。地理的には日本海から太平洋につらなる地域が含まれるが、人口は、全人口の 78%が播磨圏域から滋賀県東部に集中(偏在)している。このデータが暗喩しているように、関西圏域の各二次医療圏には、様々な地域特性がある。

各施設で実施している地域特性に応じた様々な高齢がん患者の相談支援の課題や実践を共有することで、自施設での相談支援のブラッシュアップに繋がることを期待できる。

■対象者・募集予定人数

○対象者

近畿 6 府県の都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院のがん相談支援センターなどで業務にあたっているがん専門相談員

○募集予定人数

150 名

■プログラム構成

○パネルディスカッション(90 分)

「第 3 期がん対策推進基本計画に基づいた相談支援の取り組み～高齢者支援に関するトピックス」について、6 府県からの報告(各 10 分×6)、ディスカッション(30 分)

○講演(60 分)

「高齢者支援・意思決定能力の評価」(国立がん研究センター東病院精神腫瘍科の小川朝生先生)

○グループワーク(120分)

高齢者支援に関して検討したいカテゴリーを選び、グループごとに、問題点や対策について検討する。

■企画運営主体と役割分担

○開催主体

○役割分担

■予算(概算)

項目	予算額	内容
会場費	0円+α	吊り看板:未定
謝金	54,000円+α	兵庫県協議会規定で算出 *9,000円/時×6時間×1名
資料費	36,970円	抄録作成費 *学会印刷ドットコム価格表より。表紙カラー、中モノクロ 40P ×150名分
交通費	46,360円	当日旅費:46,360円 *実行委員13名(兵庫3名、他府県10名)=30,280円 運営委員8名(兵庫以外の府県から各1名=5名、兵庫は3名)=16,080円
運営管理費	100,000円 →0円?	受付・アンケート集計作業委託 兵庫県がん診療連携協議会事務に依頼予定
通信・運搬費	20,000円	切手代、レターパック、宅急便郵送費など
諸経費	25,000円	名札ケース代、その他
合計	192,330円+α	

■フォーラム準備スケジュール

- ・2019年2月中:兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会で詳細の検討
- ・同3月中:各府県の部会に連絡、検討
- ・同6月中:フォーラム参加者募集開始
- ・同9月中:参加者決定
- ・10月5日(土):前日準備
- ・10月6日(土):フォーラム当日

■フォーラム当日のスケジュール

今後検討

兵庫県がん診療連携協議会「がん登録」部会関連

項 目	内 容
2018年度の活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん診療連携協議会 がん登録部会の開催(6月19日:兵庫県学校厚生会館) <ul style="list-style-type: none"> ・ 内 容: 検討事項(3大がん(大腸・肺・胃)の施設別治療法の登録件数と割合の公表方法、届出後の初回治療の追加登録(登録方法・時期等)) 報告事項(H30都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会の結果、地域がん登録の状況) 参加者:40病院 51人 ○ 院内がん登録実務者ミーティングの開催(年2回開催) <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回・院内がん登録実務者ミーティング(研修) <ul style="list-style-type: none"> (11月30日:神戸市立西神戸医療センター地域医療ホール大ホール) テーマ:SEER2007(多重癌ルール)について 講師:国立がん研究センター がん対策情報センター がん登録センター 江森 佳子 氏 参加者:46病院 76人 ・ 第2回・院内がん登録実務者ミーティング (2月1日:県立がんセンター) <ul style="list-style-type: none"> テーマ:2016年登録数と治療別集計と院内がん登録の統計活用事例 公表案は「別表」参照 参加者:36病院 50人 ○ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ と き:5月25日 ・ ところ:国立がん研究センター 新研究棟セミナールーム ・ 内 容: 報告事項(がん登録の動き、院内がん登録2016年全国集計結果 等) 検討事項(集計報告(0年集計、生存率報告) 等) * 全国がん登録実務者研修会の開催 (8月29日:神戸大学医学部会館シスメックスホール) <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ:全国がん登録への届出実務～具体的な症例に即した登録時のポイント～ ・講 師:国立がん研究センター がん対策情報センター がん登録センター <li style="text-align: right;">全国がん登録分析室長 柴田亜希子氏 参加者:132病院 195人
2019年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん診療連携協議会 がん登録部会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月開催予定 ○ 院内がん登録実務者ミーティングの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年2回開催予定 (講義形式(9月)、院内がん登録数集計報告等(2月)を予定) ○ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月24日開催予定 * 全国がん登録に関する研修会の開催(予定) <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催時期、内容未定

兵庫県がん診療連携協議会「緩和ケア」部会関連

項目	内容
2018年度の活動報告	<p>第6回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 緩和ケア部会(国がん) (2018/12/7) 資料</p> <p>緩和ケア部会コアメンバー会議 (神戸大学) (2019年1月29日)</p> <p>池垣淳一、木澤義之、岡山幸子、松田良信、坂下明大 (神戸大学) 濱中章洋 (淡路医療)、伊藤由美子 (がんセンター)</p> <p>緩和ケア研修会指導者の会 (22施設、疾病対策課) (2019年1月12日) 資料</p> <p>がん診療等に携わる医師等に対する緩和ケア研修会 (27回) 資料</p> <p>兵庫県緩和ケアチーム研修会 「地域をサポートする緩和ケアチーム」 (2019年1月12日)</p> <p>PDCAピアレビュー 資料</p> <p>※がんセンター主催・兵庫県私学会館にて開催 (29施設89名参加)</p> <p>緩和ケアフォローアップ研修会の開催 「せん妄」 (2019年2月16日)</p>
2019年度の活動計画及び今後の検討課題等	<p>都道府県がん診療連携拠点連携病院連絡協議会 緩和ケア部会 (2019年12月6日)</p> <p>緩和ケア部会コアメンバー会議 (未定)</p> <p>緩和ケア研修会の開催 (2019年3月までに予定決定)</p> <p>緩和ケア研修会指導者の会 (2020年1月25日)</p> <p>兵庫県緩和ケアチーム研修会 姫路医療センター主催 (2020年1月25日)</p> <p>緩和ケアフォローアップ研修会の開催 (2020年2月29日) (テーマ:コミュニケーション)</p> <p>検討課題1 緩和ケアチーム地区でのピアレビューのグループ分け、査定項目の検討</p> <p>検討課題2</p> <p>緩和ケア病棟との協議、連携</p>

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会

第6回 緩和ケア部会 開催記録

更新・確認日: 2019年01月04日 [履歴]

平成30年12月7日、第6回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 緩和ケア部会が国立がん研究センターで開催された(資料:議事次第)。各都道府県がん診療連携拠点病院の緩和ケア部門の責任者および実務者、各都道府県の緩和ケア関連会議の責任者が出席し、合計60施設から106名の関係者が参加した(資料:出席者名簿)。

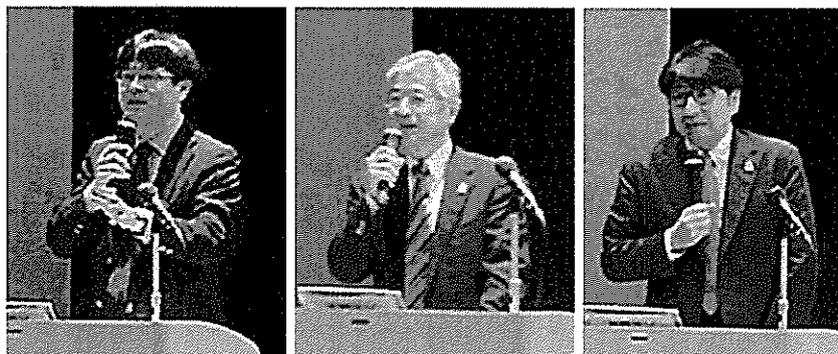
冒頭、国立がん研究センターがん対策情報センター長 若尾文彦より、7月のがん診療連携拠点病院の整備指針の変更によって新たに求められることになった機能を踏まえ、活発な意見交換をしていきたい旨、あいさつがなされた。以後、議事次第に沿って、部会長 国立がん研究センターがん対策情報センター 加藤雅志が議事進行した。

まず、厚生労働省健康局がん・疾病対策課 久保田陽介 課長補佐 より、がん診療連携拠点病院棟の指定要件の見直しを含む、がん対策の緩和ケアの施策の現状について紹介がなされた(資料1)。

次に、国立がん研究センターで取り組む緩和ケアに関する事業の紹介と(資料2)、緩和ケア提供体制の改善に関するアンケート結果の説明(参考資料)、千葉県がんセンター丹内智美先生より、千葉県の緩和ケアの提供体制の改善活動に関する取り組み(資料3)について紹介がなされた。



その後、アドバンス・ケア・プランニングに関するアンケート結果の説明があり(参考資料)、神戸大学医学部附属病院 木澤義之先生より、がん診療におけるアドバンス・ケア・プランニングに関する説明と(資料4)、九州がんセンター 大島彰先生より、施設で取り組んでいる意思決定支援について紹介がなされた(資料5)。



また、愛知県立がんセンター 下山理史先生(日本緩和医療学会 委託事業委員会 委員長)より、日本緩和医療学会が厚生労働省の委託により実施しているがん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修や普及啓発の活動について紹介がなされ(資料6)、それぞれ参加者間での情報共有が図られた。

最後に、国立がん研究センターがん対策情報センター長 若尾文彦より、本部会で共有した情報は、地域がん診療連携拠点病院へも情報共有いただきたい旨挨拶があり、閉会となった。

<資料>

[議事次第\(PDF:40KB\)](#)

[出席者一覧\(PDF:60KB\)](#)

資料1 [緩和ケアに関する連絡事項\(PDF:1.6MB\)](#)

資料2 [都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会活動報告\(PDF:4.3MB\)](#)

資料3 [緩和ケアの提供体制の改善活動\(PDF:1MB\)](#)

資料4 [がん診療におけるアドバンス・ケア・プランニング\(PDF:2MB\)](#)

資料5 [アドバンス・ケア・プランニングを含めた意思決定支援について 福岡県の取り組み紹介\(PDF:4.1MB\)](#)

資料6 [緩和ケア研修会について\(PDF:648KB\)](#)

参考資料 [事前アンケート 各施設からの回答\(PDF:1.2MB\)](#)

○緩和ケア研修開催状況

H30.12月末時点

(国拠点病院)

圏域	名称	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	病院計
神戸	神戸大学医学部附属病院	29	32	35	56	28	27	26	188	146	86	97	750
	神戸市立医療センター中央市民病院	-	31	39	27	25	21	18	23	78	22	25	309
	西神戸医療センター	-	-	-	-	-	-	14	18	21	22	19	94
阪神南	関西労災病院	20	21	18	22	21	18	18	23	41	18	24	244
	兵庫医科大学病院	-	22	29	16	25	26	18	74	86	71	36	403
阪神北	近畿中央病院	24	16	15	17	16	14	16	13	11	18		160
東播磨	県立がんセンター(都道府県型)	84	26	26	41	21	15	22	21	27	23	26	332
北播磨	市立西脇病院	-	24	19	22	23	16	16	17	21	15	24	197
中播磨	国立病院機構姫路医療センター	-	21	23	21	22	22	21	29	29	24	15	227
	姫路赤十字病院	-	52	-	25	22	24	24	23	24	31	33	258
西播磨	赤穂市民病院	-	22	15	17	16	22	13	11	18	16	23	173
但馬	公立豊岡病院	-	18	16	16	16	16	14	12	11	15		134
丹波	県立柏原病院	-	23	18	19	19	21	9	23	21	16		169
淡路	県立淡路医療センター	-	21	12	11	18	18	23	24	36	15	29	207
合計		157	329	265	310	272	260	252	499	570	392	351	3,657
開催回数		4回	15回	13回	16回	14回	14回	14回	19回	21回	16回		146回

(その他拠点病院以外)

圏域	名称	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	病院計
神戸	神鋼記念病院	-	-	-	-	-	18	20	18	17	16	26	115
	国立病院機構神戸医療センター	-	23	30	17	22	18	16	25	28	27		206
	神戸赤十字病院	-	-	-	-	-	-	23	19	-	-		42
	JCHO神戸中央病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	23	42
阪神南	県立尼崎総合医療センター	-	20	-	24	33	27	21	28	34	28	36	251
	県立西宮病院	-	-	-	18	17	14	16	18	15	20	24	142
	西宮市立中央病院	-	-	-	-	14	-	17	-	22	-		53
	市立芦屋病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	
阪神北	市立伊丹病院	-	22	25	24	21	16	20	33	35	23		219
	宝塚市立病院	-	-	20	22	22	20	21	19	27	24	23	198
	市立川西病院	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-		9
北播磨	北播磨総合医療センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	20	40
中播磨	製鉄記念広畑病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	24
東播磨	県立加古川医療センター	-	-	-	-	-	-	-	12	32	18		62
	加古川中央市民病院	-	-	-	-	-	-	-	17	30	29		76
特非) 日本緩和医療学会		-	-	-	19	15	-	-	-	-	-		34
合計		0	65	75	124	144	113	163	189	240	224	207	1,544
開催回数		0回	2回	2回	5回	6回	5回	9回	9回	9回	10回		57回

総計	157	394	340	434	416	373	415	688	810	616	558		5,201
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	--	-------

※神戸医療センター：H26年度まで国拠点、H27年度からその他
 ※西神戸医療センター：H26年度までその他、H27年度から国拠点
 ※人数については、各病院で開催した研修会の修了者人数のため、開催病院の所属医師ではない医師も含まれている。

緩和ケア研修会 地域別修了者数（23年度～29年度）

（単位：人）

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
神戸	84	124	224	312	225
うち、診療所等	2	9	3	8	9
阪神南	102	73	159	180	147
うち、診療所等	8	11	3	4	6
阪神北	39	57	54	53	35
うち、診療所等	4	2	3	2	3
東播磨	27	40	68	72	49
うち、診療所等	1	4	6	4	2
北播磨	21	16	14	21	40
うち、診療所等	4	3	0	2	0
中播磨	38	33	73	81	58
うち、診療所等	1	3	1	0	2
西播磨	16	16	19	16	7
うち、診療所等	4	1	1	2	0
但馬	16	15	17	8	14
うち、診療所等	2	2	1	1	1
丹波	7	6	15	13	10
うち、診療所等	1	0	2	3	0
淡路	14	26	26	33	16
うち、診療所等	0	3	2	0	2
県外	9	9	19	21	15
うち、診療所等	0	2	0	2	1
合計	373	415	688	810	616
うち、診療所等	27	40	22	28	26

* 「診療所等」は、診療所（クリニック）のほか、介護老人保健施設を含む。

緩和ケア研修会 地域別(市町別)修了者(受講者)数 (23年度~29年度)
(単位:人)

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
神戸	84	124	224	312	225
うち、診療所等	2	9	3	8	9
阪神南	102	73	159	180	147
うち、診療所等	8	11	3	4	6
尼崎市	6	6	2	2	1
西宮市	2	5	1	2	5
芦屋市	-	-	-	-	-
阪神北	39	57	54	53	35
うち、診療所等	4	2	3	2	3
伊丹市	2	1	3	-	3
宝塚市	1	1	-	2	-
川西市	1	-	-	-	-
三田市	-	-	-	-	-
猪名川町	-	-	-	-	-
東播磨	27	40	68	72	49
うち、診療所等	1	4	6	4	2
明石市	-	-	1	4	2
加古川市	-	3	3	-	-
高砂市	1	1	1	-	-
稲美町	-	-	1	-	-
播磨町	-	-	-	-	-
北播磨	21	16	14	21	40
うち、診療所等	4	3	0	2	0
西脇市	3	-	-	-	-
三木市	-	-	-	-	-
小野市	-	1	-	-	-
加西市	1	1	-	1	-
加東市	-	1	-	1	-
多可町	-	-	-	-	-
中播磨	38	33	73	81	58
うち、診療所等	1	3	1	-	2
姫路市	1	3	1	-	2
市川町	-	-	-	-	-
福崎町	-	-	-	-	-
神河町	-	-	-	-	-
西播磨	16	16	19	16	7
うち、診療所等	4	1	1	2	0
相生市	1	-	-	-	-
たつの市	1	-	-	-	-
赤穂市	2	1	-	2	-
宍粟市	-	-	1	-	-
太子町	-	-	-	-	-
上郡町	-	-	-	-	-
佐用町	-	-	-	-	-
但馬	16	15	17	8	14
うち、診療所等	2	2	1	1	1
豊岡市	2	2	-	-	1
養父市	-	-	-	-	-
朝来市	-	-	1	1	-
香美町	-	-	-	-	-
新温泉町	-	-	-	-	-
丹波	7	6	15	13	10
うち、診療所等	1	0	2	3	0
篠山市	-	-	1	1	-
丹波市	1	-	1	2	-
淡路	14	26	26	33	16
うち、診療所等	0	3	2	-	2
洲本市	-	2	1	-	-
南あわじ市	-	1	1	-	2
淡路市	-	-	-	-	-
県外	9	9	19	21	15
うち、診療所等	0	2	0	2	1
合計	373	415	688	810	616
うち、診療所等	27	40	22	28	26

* 「診療所等」は、診療所(クリニック)のほか、介護老人保健施設を含む。



がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会について

—研修会はe-learning と1日の集合研修となりました。—

がん対策基本法に基づくがん対策推進基本計画(平成19年6月15日閣議決定)において、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得する」ことを目標とし、緩和ケア研修会が開催されてまいりました。

兵庫県ではこれまでに4352名が研修を修了しています。(平成29年度9月末時点)

本年度より新緩和ケア研修会開催指針(平成29年12月1日付け健発1201号厚生労働省健康局長通知)に基づき開催されます。これまでの2日間の集合研修からe-learning と1日間の集合研修へと変更されました。また、がんその他の特定疾病の診療において適切に緩和ケアが提供されるよう、すべての医療従事者が基本的な緩和ケアを習得することが目的とされ、対象疾患も受講対象も拡大されています。

<受講対象者>

医師、歯科医師が対象ですが、緩和ケアに従事するその他の医療従事者の参加も望まれています。

受講について

集合研修受講には事前にe-learningの修了が必要です。

1. 緩和ケアe-learning受講には、まず以下のURLをクリックして、登録してください。
<https://peace.study.jp/pcontents/top/1/index.html>

2. 集合研修の申し込み
詳しくは下記開催施設にお問合せください。

<集合研修内容>

- ① e-learningの復習、質問
- ② 全人的苦痛に対する緩和ケア
- ③ がん患者等の療養場所の選択、地域における連携、在宅における緩和ケアの実際
- ④ がん等の緩和ケアにおけるコミュニケーション
- ⑤ 患者会講演または患者支援活動について

なお 2017年度までの単位型研修会は終了しました。

また、e-learningはすでに緩和ケア研修会を修了された方も受講していただけます。

[ページの先頭へ戻る](#)

平成30年度 がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会予定表(H31.1.15現在)

開催日	主催病院	定員	コメディカルの募集	電話番号	問い合わせ先		締切日備考など
					事務担当	企画責任者	
6月10日(日)						李美於	

-  [がん診療連携拠点病院](#)
-  [兵庫県がん地域連携バス](#)
-  [兵庫県緩和ケア研修会](#)
-  [兵庫県がん対策推進計画](#)
-  [兵庫県がん登録情報](#)
-  [がん相談支援センター一覧](#)
-  [関連情報リンク](#)

	神戸市立医療センター 中央市民病院			078-302-4321			
7月1日(日)	市立芦屋病院	30名	あり	0797-31-2156	総務課 高田 勢子	西本 哲郎 松田 良信	募集終了
7月7日(土)	県立柏原病院			0795-72-4270	がん相談支援センター	板倉 崇泰	募集終了
8月5日(日)	市立西脇病院	24名	あり	0795-22-0111	医事課 明山・高橋	木村 祥子	
9月1日(土)	神戸大学医学部附属病院			078-382-5111	がん相談室 上野・梶本	木澤 義之	
9月8日(土)	姫路医療センター			079-225-3211	がん相談支援室 間庭	和田 康雄	
10月6日(土)	北播磨総合医療センター	24名	若干名	0794-88-8800	管理部 平田	山名 順子	
10月14日(日)	宝塚市立病院	24名		0797-87-1161	経営統括部 大久保	吉川 善人 野間 秀樹	
10月14日(日)	赤穂市民病院	18名	定員(18名)のうち 若干名	0791-43-3222	地域医療室 西山・富田	横山 弥栄	募集終了
10月21日(日)	神戸大学医学部附属病院			078-382-5111	がん相談室 上野・梶本	木澤 義之	
10月28日(日)	神戸市立西神戸医療センター			078-997-2200	地域医療課 江良・朝香 総務課 藤本 律子	安藤 俊弘	
11月3日(土)	県立がんセンター			078-929-1151	総務課 城戸・平部	池垣 淳一 田根 香織	募集終了
11月10日(土)	関西労災病院			06-6416-1221	医事課	堀 謙輔 池田 和世	募集終了
11月10日(土)	製鉄記念広畑病院	24名	あり	079-236-1038	医事課 関本	藤澤 貴史	10月12日締切
11月18日(日)	県立西宮病院			0798-34-5151	総務課 清水 健治	福永 睦	募集終了
11月18日(日)	JCHO神戸中央病院			078-594-2211	総務企画課 新井 寛人 稲葉 義博	三田 礼子	
11月23日(金)	県立尼崎総合医療センター			06-6480-7000	医事課 増田	平林 正孝	院内優先のため院外募集なし
12月1日(土)	神鋼記念病院			078-261-6711	地域医療連携室 山田	浅石 眞実	募集終了
12月15日(土)	姫路赤十字病院			079-294-2251	総合相談支援課 井上・中杉	福永 智栄	
12月15日(土)	兵庫医科大学病院			0798-45-6611	管理課 松本	棚田 大輔	
12月16日(日)	県立淡路医療センター	30名	あり	0799-22-1200	がん相談支援センター 岡田 加哉子	濱中 章洋	募集終了

平成31年

1月20日(日)	近畿中央病院			072-781-3712	診療情報管理室 丸山 明子	合屋 将	
1月27日(日)	県立加古川医療センター	24名	若干名	079-497-7000	総務次長 宿南 ひとみ	田中 祐子	
2月2日(土)	西宮市立中央病院	24名	なし	0798-64-1515	総務課 河本 由宇	前田 倫	募集終了
2月17日(日)	市立伊丹病院			072-777-3773	総務課 田中 久雄	堀木 優志	
2月23日(土)	神戸医療センター		若干				

		24名	078-791-0111	医事 川崎 正則	宮崎 博之	募集中 1月18日締切
2月24日(日)	加古川中央市民病院	24名	079-451-8607	総務課 高村	西澤 昭彦	募集終了

※開催日は、主催者の事情等により変更になる場合があります。

※緩和ケア研修会修了者の平成24年度累計 : 416名
 ※緩和ケア研修会修了者の平成25年度累計 : 373名
 ※緩和ケア研修会修了者の平成26年度累計 : 415名
 ※緩和ケア研修会修了者の平成27年度累計 : 688名
 ※緩和ケア研修会修了者の平成28年度累計 : 810名
 ※緩和ケア研修会修了者の平成29年度累計 : 616名
 ※緩和ケア研修会修了者の累計 : 4,643名

(平成30年3月31日時点)

[ページの先頭へ戻る▲](#)

研修会案内ポスター

研修会案内ポスター



クリックするとPDFファイルを表示します。(PDF: 361.0KB)

[ページの先頭へ戻る▲](#)

緩和ケア研修会修了者について

[平成29年度緩和ケア研修会修了者名簿\(493名\)\(PDF: 223KB\)](#)

[平成28年度緩和ケア研修会修了者名簿\(680名\)\(PDF: 283KB\)](#)

[平成27年度緩和ケア研修会修了者名簿\(552名\)\(PDF: 209KB\)](#)

[平成26年度緩和ケア研修会修了者名簿\(346名\)\(PDF: 168KB\)](#)

[平成25年度緩和ケア研修会修了者名簿\(372名\)\(PDF: 136KB\)](#)

[平成24年度緩和ケア研修会修了者名簿\(349名\)\(PDF: 203KB\)](#)

[平成23年度緩和ケア研修会修了者名簿\(373名\)\(PDF: 189KB\)](#)

※この名簿は研修会受講の際、氏名及び所属を公開することに本人の同意のあった方のみを公開しております。

※外字の氏名につきましては、表記が変更になっている場合があります。

[ページの先頭へ戻る▲](#)

[兵庫県がん診療連携協議会について](#) [兵庫県がん診療連携拠点病院とは](#) [活動報告](#) [今後の予定](#) [お問い合わせ](#) [トップページ](#)

第9回兵庫県緩和ケアチーム研修会
「地域を支える緩和ケアチーム」

【プログラム】

平成31年1月12日（土）13：30～17：00

兵庫県私学会館 4階大ホール

司会；兵庫県立がんセンター 伊藤 由美子

開始時刻	終了時刻	所要時間	内容	担当/講師
13：00	13：15	15	開会の挨拶、導入	兵庫県立がんセンター 池垣 淳一
13：15	13：35	20	明石・東播磨での取り組み紹介	兵庫県立がんセンター 池垣 淳一
13：35	13：50	15	西宮市と堺市による在宅医マップ作成の取り組みと相違	兵庫県立西宮病院 福永 睦
13：50	14：05	15	心不全患者に対する当院での緩和ケアチームの関わり	市立芦屋病院 西本 哲郎
14：05	14：15	10	休憩	
14：15	14：55	40	垂水区での多職種連携の取り組み	垂水区医師会長 中村クリニック 中村 治正
14：55	15：00	5	アンケートの結果	兵庫県立がんセンター 池垣 淳一
15：00	16：45	105	PDCA 説明と GW	兵庫県立淡路医療センター 濱中 章洋
16：45	16：55	10	閉会の挨拶 アンケート記入	兵庫県立がんセンター 池垣 淳一

兵庫県がん診療連携協議会「地域連携」部会関連

項目	内容
2018年度の活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ○ がんパスの使用状況につき各部会で検討する ○ 大腸癌ESDパスの運用につき検討する。 ○ がん地域連携に関する問題点の抽出
2019年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続きがんパスの使用状況を各部会で検討してゆく。 ○ 大腸がんESDパスを実際に運用し、問題点などを抽出する。 ○ がん地域連携に関する問題点を引き続き抽出する。既存の連携ノートの内容につき検討を継続する。